

## クリスマス会

クリスマス、職員から利用者様へハンドベル演奏のプレゼント。透き通る温かい音色を、楽しんで頂きました。サンタやトナカイの衣装を着た演奏隊に、利用者様は大きな拍手を下さいました。



笑顔いっぱい  
の楽しいクリスマス会になりました。

## 節分の豆まき

2月3日、節分。利用者の皆様と無病息災・ご多幸を願い、豆まきを行いました。利用者様は、鬼に扮した職員に「鬼は、外〜!」と大きな掛け声と共に豆まきを始めます。毎年このことながら、豆を投げる利用者様は、何か溜まっていたモノを吐き出す事のように、真剣、かつ笑顔いっぱいです。鬼退治を心の底から、楽しまれた様子です。



これでまた一年、明るく楽しい日々を過ごせそうですね!

## 新年を彩る生け花

年末最後のイベント、生け花。新年を気持ち良く迎えるため、利用者様に生けて頂きました。久々に生けるご利用者様自身で自ら率先して草花を手になさる、個々の感性で仕上げます。制作に励んでいる利用者様の笑顔は、お花に負けないくらい素敵に輝いていました。



作品はそれぞれの個性が表れ、同じ材料のお花を使った生け花でも、まったく同じ作品にならないのが不思議です。



あるふあ国立の玄関入り口から通路は、利用者様の生け花により、お正月にふさわしく上品で華やかに彩られました。年々、利用者様の作品展示を見て喜ばれ、感心し、いつまでもご覧になっていました。



## お囃子&獅子舞

元旦、坂下囃子連の方々による、お囃子・獅子舞が登場しました。太鼓や笛の音色とピタリ息の合った迫力ある獅子舞の演舞。縁起物の獅子舞に、利用者様も触らせて頂きました。

昨年12月には、旭友会獅子会・干支獅子会の方々に、お囃子の演奏を披露頂きました。披露頂かされた、様々な折に触れて、様々のお力で元の皆様に感謝しております。



## 筍という字の由来

筍は春の旬(しゅん)の代名詞。読んで字のごとく竹冠に旬と書いて「たけのこ」と読みます。その由来は、成長が速く、約10日間(一旬)で、竹に成長するところから来たと言われています。普通、植物はてっぺんにある成長点が細胞分裂して大きくなりますが、筍の成長点は節にあり、節で細胞分裂して大きくなります。

竹はイネ科の植物。暖かい気候を好み、南方ほど種類も多く、大型の品種があり、竹の寿命は百年以上で、何十年かに一度花を咲かせるようになります。



医療法人社団 三水会 介護老人保健施設 あるふあ国立  
 ©サービス内容 入所・ショートステイ  
 通所・訪問リハビリテーション  
 ©住所 東京都国立市谷保1006-1  
 ©お問い合わせ先 TEL 042-577-8121 FAX 042-577-8130  
 ©ホームページ http://www.sansuikai.jp/

## 編集後記

待ち望んでいた穏やかな春の日差しと暖かさが、感じられるようになってきました。3月後半からは桜の開花が、始まります。利用者様と綺麗な桜を見に行くのが楽しみです。